

赤十字は、動いている!

あなたと想いをひとつにして。

災害、紛争、貧困や感染症...
 多くの人を苦しめる人道危機は、
 世界中でますます深刻化しています。
 幸せな生活を理不尽に奪われ、
 傷つき苦しんでいる人々を救いたい。
 あなたのその想いを担って、
 赤十字は今日も明日も活動を続けます。
 いかなる状況下でも、
 人のいのちと健康と尊厳は、
 守られなければならない。
 365日とぎれることのない救護と支援は、
 あなたと赤十字のアクションです。



TEAM SAVE 365 一緒なら、救える。

日本赤十字社の活動は、皆様の寄付によって支えられています。

日本赤十字社 長野県支部
 Japanese Red Cross Society

寄付方法のご案内

自宅の玄関

自治会や赤十字奉仕団等の皆様のご協力のもと、戸別訪問による募集を行っています。

口座振替・クレジットカード

預金口座からの振替により定期的に納入していただけます。また、日本赤十字社のホームページからクレジットカード決済がご利用いただけます。

税制上の優遇措置

〈個人〉所得税、個人住民税などの控除
 〈法人〉法人税の控除
 ※詳しくは、最寄りの税務署などにご相談ください。

市町村窓口

日本赤十字社長野県支部または各市町村の赤十字窓口で随時受け付けています。

遺贈・相続財産

遺贈や相続財産による寄付を受け付けています。これらの寄付金は相続税などの優遇措置が受けられます。



詳細については、日本赤十字社長野県支部ホームページ「寄付する」のページをご覧ください。

日赤活動資金と義援金の違い

■日赤活動資金とは—— 赤十字の活動を支援するお金 皆様からいただくご寄付は、災害救護や防災教育などのちと健康、尊厳を守る赤十字活動に使わせていただいています。



■義援金とは—— 被災された方々へ贈るお金 被災都道府県に設置される義援金配分委員会へ全額をお送りし、市区町村等の自治体を通じて、被災地の方々の生活支援に役立てられます。



日本赤十字社 長野県支部
 Japanese Red Cross Society

〒380-0836 長野市南県町 1074
 TEL:026-226-2073
<https://www.jrc.or.jp/chapter/nagano/>

詳細はコチラから

日赤長野県支部 検索



日赤活動資金申込書

日本赤十字社 太枠内をご記入ください

金額	円	申込年月日	令和 年 月 日
住所	〒 -		
氏名	フリガナ		
地区名 町会名等	【地区】: 【町会】: 【組等】:	取扱者印	

ご協力ありがとうございました。

領収書	
金額	円
氏名	様
上記金額を領収しました。	
令和 年 月 日	
取扱者印	
日本赤十字社長野県支部	

【個人情報について】日本赤十字社長野県支部は、日赤活動資金へのご協力に際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、日赤活動資金募集活動のためにのみ使用します。

皆様からのご寄付は、苦しんでいる人々を救うための「災害救護活動」や「国際活動」に使わせていただいています。



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

災害時、多くのいのちを救うために活動しています。

災害時、迅速に対応するために
災害救護訓練・研修



災害発生時に迅速かつ確に対応できるよう、
災害救護に関する知識と技術の習得を目指して
毎年実施しています。

避難生活で役立つように
救援物資の備蓄



災害時にいち早く被災者に届けられるよう、県内
23か所の倉庫に毛布や安眠セットなどの物資を
備蓄しています。

地域や学校と協力しながら、安心・安全につながる活動に取り組んでいます。

地域を支える助け合いの活動
赤十字奉仕団



県内各地で組織されている赤十字奉仕団では、高齢者福祉、防災・減災、公共施設の清掃など地域のニーズに合わせて活動しています。



思いやりの心と自主性を育むために
青少年赤十字



未来を担う子どもたちが赤十字精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、「気づき・考え・実行する」力を育成しています。



日常生活の事故防止や応急手当のために
救急法等の講習



人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を普及するため、救急法など4つの講習会を県内各地で開催しています。



地域の防災力を向上させるために

防災・減災研修セミナー



体験型など実践的なセミナーを開催し、防災・減災の意識の向上と、自助と共助に役立つ知識や技術を普及しています。



いのちを守るために



災害からいのちを守るためには、「自助」や「共助」が大切です。

セミナー名	時間	対象	内容
ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!	30分から	園児・児童・生徒	災害時の危険(場所・行動)について伝え、自分の身を守るための基本的な知識や判断力を育みます。
まもるいのち ひろめるぼうさい	50分から	児童・生徒	いのちの大切さを学び、「気づき・考え・実行する」を重視したコミュニケーション力、想像力などを養うグループワークプログラムです。
屋内での安全対策	40分から	子ども～大人	家具や家電などの転倒・落下・移動防止策を考え、自宅を見直す際の気づきや知識を学べます。
避難所体験ゲーム	90分から	子ども～大人	避難所運営の一員として、避難者の受け入れから部屋割り、トイレ問題、ペットの対応などを机上模擬体験します。

全ては困っている人を救うために

医療救護班・日赤災害医療コーディネーターチーム・こころのケア班の派遣／救援物資の配布／義援金の受付



令和6年 能登半島地震災害

©Atsushi Shibuya

令和6年1月1日16時、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生しました。
日本赤十字社は発災直後に被災地へ入り、行政機関等と連携しながら被災者支援にあたりました。

世界に広がる赤十字の一員として活動しています。

緊急救援から開発協力まで
国際活動



ウクライナやイスラエル・ガザ地区での人道支援活動、東アフリカでの水・衛生、栄養、感染症予防などの啓蒙活動を実施し、地域保健の強化を支援しています。



「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字活動の安定と継続のために
皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

